

デスモプレシン・スプレー2.5協和  
 デスモプレシン・スプレー10協和

(10-6)J

瓶ラベルのデザイン変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、中枢性尿崩症用剤 デスモプレシン・スプレー 2.5協和及び夜尿症用剤 デスモプレシン・スプレー 10協和の瓶ラベルデザインを変更しましたのでご案内いたします。

これらの製品は、定量噴霧式点鼻容器を用いた薬剤であり、薬液を吸い上げるチューブの先端が薬液の中に入っていないと正確な噴霧量を確保できません。そのため、従来品では取扱い説明書及びお知らせカード「くすりの使い方と注意点」を製品に同封しご留意いただきまいりましたが、このたび、チューブ先端の位置を確認できるよう、チューブ先端位置を瓶ラベルに直接表示したデザインに変更しました。

この変更に伴い、お知らせカード「くすりの使い方と注意点」の製品同封の廃止、及び取扱い説明書（裏面参照）の改訂を行いましたのでお知らせします。

当分の間、新旧製品が市場に流通しご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。

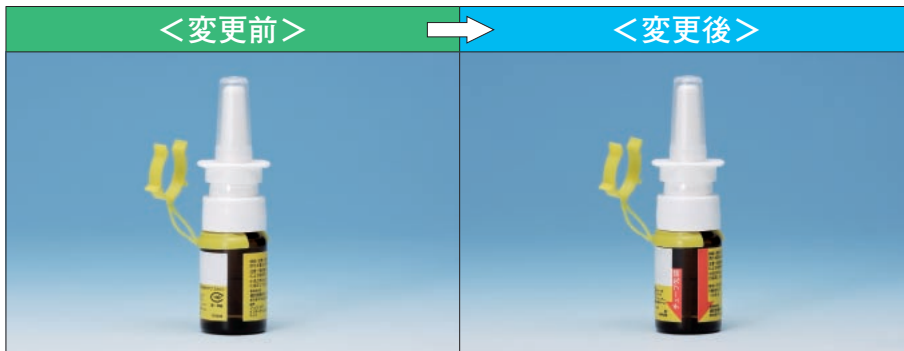
謹白

記

◆変更内容

●瓶ラベルデザイン変更

チューブの先端の位置を瓶ラベルの赤い矢印で示すようにしました。



\*デスモプレシン・スプレー 10協和のみを例示しました。デスモプレシン・スプレー 2.5協和も同様の変更を行っています。

●お知らせカード「くすりの使い方と注意点」の廃止

**くすりの使い方と注意点**

ピンの内側のチューブの先端が必ず薬液の中に入っている状態でご使用下さい。

チューブの位置に、マジックや添付シールで印を付けておき、印を手前にして噴霧すると便利です。

➡ 廃止

【廃止する理由】

チューブ先端の位置を瓶ラベルの赤い矢印で示すようにしたため、別途シールなどで目印をつける必要がなくなりました。

添付シール(予備を含め2枚)

※裏面にも変更案内がございますのでご確認ください。

## ◆表示変更品の出荷予定

品名	包装	変更実施ロット番号	出荷予定月
デスモプレシン・スプレー 2.5協和	1瓶	117AID	4月
デスモプレシン・スプレー 10協和	1瓶	O49AHL	4月

## ◆変更表示

ラベルの表示変更

添付シール同封廃止

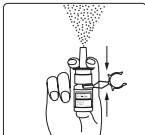
## ◆取扱い説明書「デスモプレシン・スプレー 2.5協和のご使用にあたって、デスモプレシン・スプレー 10協和のご使用にあたって」の改訂

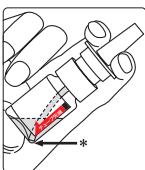
瓶ラベルのデザイン変更に伴い、取扱い説明書（製品同封）を改訂いたしました。

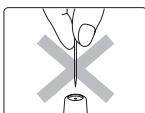
### デスモプレシン・スプレー10協和のご使用にあたって

- このお薬は冷蔵庫に凍結を避けて保存して下さい。
- 使用量及び使用回数は医師の指示に従って下さい。
- 頭痛やはきけがあった時は、安静にして医師に連絡して下さい。
- 鼻をかんでから使用して下さい。

#### 留意点


- 

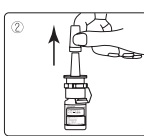
本剤を初めて使用する時には、ポンプを数回（4回程度）押してチューブに薬液が吸い上げられるようにし、薬液が霧状にでることを確認してからご使用下さい。  
また、長期間（1週間以上）使用していなかった場合等にもポンプを1回もしくは薬液が霧状にでるまで空打ちしてから使用する必要があります。  
なお、スプレーする時には人差指と中指の力を均等にかけ最後までポンプを押して下さい。
- 

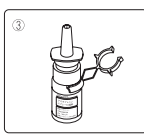
スプレー使用時には、ピンの内側のチューブの先端が必ず薬液の中に入っている状態でご使用下さい。  
\*チューブの先端は、ラベルの開いている矢印の方向に固定されています。ラベルの開いている方を手前にして噴霧すると、チューブの先端が薬液の中に入っている状態で使用できます。  
(チューブ先端が薬液の中に入っていない状態で噴霧すると、チューブに空気が入り、正確な量が噴霧されないことがあります。このような場合には空打ちしてからご使用下さい。)
- 

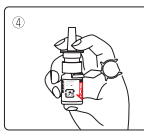
空打ちの際、薬剤の噴霧が不十分でも針やピンなどで噴霧口を突かないでください。  
正確な量を噴霧できなくなります。
- ポケット等、体温が伝わる所に入れて携帯しないで下さい。液もれを起こすおそれがあります。携帯が必要な場合は収納ケースにおさめてバッグ等に入れ、立てた状態で携帯して下さい。
- バッグ等に入れて携帯する際、振とうや落下などの衝撃を加えないよう注意して下さい。液もれを起こすおそれがあります。

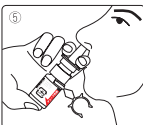
#### 使用方法


- 

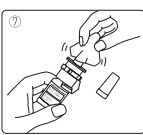
本剤をスプレーする前に鼻をかんで鼻腔の通りを良くして下さい。
- 

容器から保護キャップをはずします。
- 

容器からストッパーをはずします。
- 

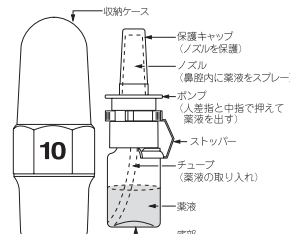
親指で底部を支え、人差指と中指でポンプを押さえ容器を図のように持ちます。
- 

頭を少し後ろに傾け、図のようにノズルの先端を鼻腔に入れ、息を止めてスプレーします。スプレー回数が複数の場合は、左右の鼻腔に交互にスプレーして下さい。
- 

スプレー後は薬液を鼻の奥まで行き渡らせるように、頭を後ろに傾けた状態で軽く鼻を押さえ、鼻から静かに息を吸うようにして下さい。
- 

使用後はストッパーを取り付け、ノズルの先端をきれいにふいて、保護キャップをして下さい。  
使用しない時は、冷蔵庫でピンを立てた状態で保管して下さい。

（1スプレー時の主薬量：10μg）  
（1スプレー時の薬液量：0.1mL）



IG

\*デスモプレシン・スプレー 10協和の“取扱い説明書”のみを例示しました。デスモプレシン・スプレー 2.5協和の“取扱い説明書”も同様の改訂を行っています。